

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和6年10月21日(2024.10.21)

【公開番号】特開2024-144736(P2024-144736A)

【公開日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【年通号数】公開公報(特許)2024-191

【出願番号】特願2024-129888(P2024-129888)

【国際特許分類】

H01R 13/6581(2011.01)

10

【F I】

H01R 13/6581

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月4日(2024.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1信号導体を有する第1ケーブルと、第2信号導体を有する第2ケーブルとに接続されるコネクタであって、

前記第1ケーブルの外周及び前記第2ケーブルの外周に対向する対向面を有するコネクタベースと、

前記第1信号導体に接続される導電性の第1信号コンタクトと、

前記対向面に平行な配列方向に沿って前記第1信号コンタクトと並び、記第2信号導体に接続される導電性の第2信号コンタクトと、

前記コネクタベースに保持され、前記第1信号コンタクトを保持する絶縁性の第1ハウジングと、

前記コネクタベースに保持され、前記第2信号コンタクトを保持する絶縁性の第2ハウジングと、を有するベースユニットと、

前記配列方向に垂直な直交方向に沿った軸線まわりに前記第1ハウジングを包囲するように前記コネクタベースに固定される導電性の第1シェルと、

前記直交方向に沿った軸線まわりに前記第2ハウジングを包囲するように前記コネクタベースに固定される導電性の第2シェルと、を備え、

前記コネクタベースは、

前記対向面に沿った導電性のベースプレートと、

前記ベースプレートと、前記第1ハウジングと、前記第2ハウジングとを保持する絶縁性のベースハウジングとを有し、

前記ベースプレートは、前記第1シェルと前記第2シェルとを電気的に接続し、

前記第1シェルは、

前記配列方向に沿って互いに対向する一対の第1側壁部と、

前記一対の第1側壁部を連結する第1連結壁部と、を有し、

前記一対の第1側壁部と、前記第1連結壁部と、前記ベースプレートとによって前記第1ケーブルを包囲し、

前記第2シェルは、

前記配列方向に沿って互いに対向する一対の第2側壁部と、

前記一対の第2側壁部を連結する第2連結壁部と、を有し、

40

50

前記一対の第2側壁部と、前記第2連結壁部と、前記ベースプレートとによって前記第2ケーブルを包囲する、コネクタ。

【請求項2】

前記第1シェル及び前記第2シェルが固定された前記コネクタベースを収容する絶縁性のアウターハウジングを更に備える、請求項1記載のコネクタ。

【請求項3】

前記アウターハウジングは、前記直交方向に垂直な前壁部を有し、前記前壁部は、前記配列方向に並び互いに仕切られた第1開口及び第2開口を有し、前記第1ハウジングは、前記第1シェルに包囲された状態で、前記第1開口を経て前記アウターハウジングから突出し、

前記第2ハウジングは、前記第2シェルに包囲された状態で、前記第2開口を経て前記アウターハウジングから突出する、請求項2記載のコネクタ。

【請求項4】

前記アウターハウジングに固定され、前記第1ケーブルと前記第2ケーブルとの間隔を規制する絶縁性のセパレータを更に備え、

前記コネクタベースは、前記前壁部と前記セパレータとの間に配置される、請求項3記載のコネクタ。

【請求項5】

前記第1信号コンタクトは、前記第1信号導体に接続される第1接続部と、相手コネクタの相手第1信号コンタクトに接触する第1接触部と、を有し、

前記第2信号コンタクトは、前記第2信号導体に接続される第2接続部と、前記相手コネクタの相手第2信号コンタクトに接触する第2接触部と、を有し、

前記第1ハウジングは、前記第1連結壁部に向かって前記第1接続部を露出させ、前記第1連結壁部に向かう方向の反対に向かって前記第1接触部を露出させるように、前記第1信号コンタクトを保持し、

前記第2ハウジングは、前記第2連結壁部に向かって前記第2接続部を露出させ、前記第2連結壁部に向かう方向の反対に向かって前記第2接触部を露出させるように、前記第2信号コンタクトを保持する、請求項1～4のいずれか一項記載のコネクタ。

【請求項6】

前記第1シェルは、外力の付与によって前記第1ハウジングに近付き、前記外力の除去によって前記第1ハウジングから離れる第1弾性接触部を有し、

前記第2シェルは、外力の付与によって前記第2ハウジングに近付き、前記外力の除去によって前記第2ハウジングから離れる第2弾性接触部を有する、請求項1～5のいずれか一項記載のコネクタ。

【請求項7】

前記一対の第1側壁部のそれぞれが前記第1弾性接触部を有し、前記一対の第2側壁部のそれぞれが前記第2弾性接触部を有する、請求項6記載のコネクタ。

【請求項8】

前記第1ケーブルは、前記第1信号導体を包囲する第1外部導体を更に有し、前記第2ケーブルは、前記第2信号導体を包囲する第2外部導体を更に有し、

前記ベースプレートは、前記第1外部導体に対応する第1固定孔と、前記第2外部導体に対応する第2固定孔とを有する、請求項1～7のいずれか一項記載のコネクタ。

【請求項9】

前記ベースプレートは、前記一対の第1側壁部にそれぞれ対応する一対の第1シェル固定孔と、前記一対の第2側壁部にそれぞれ対応する一対の第2シェル固定孔とを有し、

前記一対の第1側壁部のそれぞれは、対応する第1シェル固定孔に挿入される第1固定片を有し、

前記一対の第2側壁部のそれぞれは、対応する第2シェル固定孔に挿入される第2固定片を有し、

10

20

30

40

50

前記第1固定孔は前記一対の第1シェル固定孔の間に位置し、前記第2固定孔は前記一対の第2シェル固定孔の間に位置する、請求項8記載のコネクタ。

10

20

30

40

50